

# テクニカルガイド

Aタイプ

## 対象商品

- アルミ(標準)
- アルミ(厚手)
- アルミ(最厚)
- アルミ(マット)
- ナイロン(透明)
- レトルト三方袋
- レトルトスタンド袋



# 目 次

1. 塗り足しと文字位置について	P 3
2. デザインの配置について	P 4
3. 各種の推奨サイズについて	P 5
4. オブジェクトの分割について	P 6
5. 画像について	P 7
6. 白版について	P 8
7. カラーについて	P 9

# 1. 塗り足しについて


memo

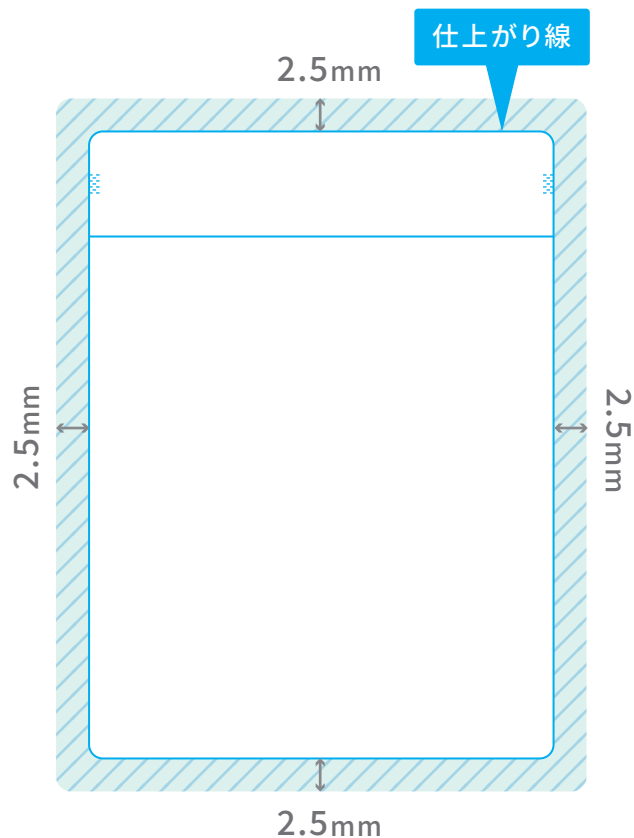
塗り足し：裁断時のズレで白フチを防ぐため、仕上がり線外側までデザインを伸ばすこと。

## ■ 塗り足し範囲

仕上がりいっぱいまで絵柄や背景がある場合

仕上がり線 — より外に **2.5mm** の塗り足しの作成が必要です。

 塗り足し範囲

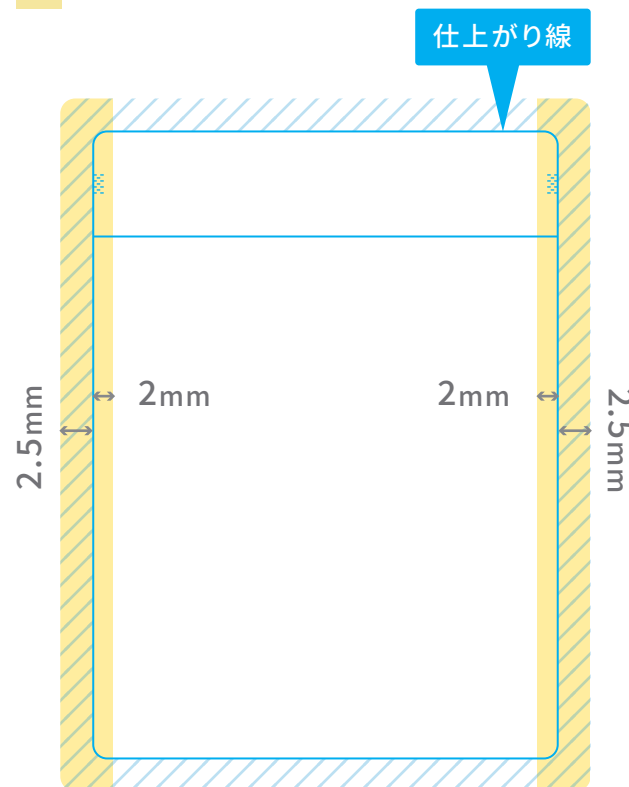


## ■ 左右の塗り足しの色・柄

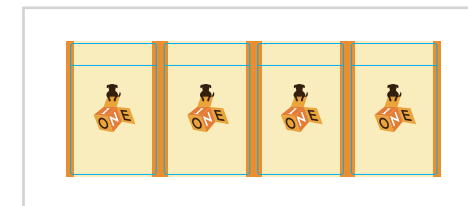
仕上がり線から左右内側 **2mm** と外側 **2.5mm** の範囲は

断裁の際に影響があるため、左右の塗り足しを**単一の色・柄**で作成してください。

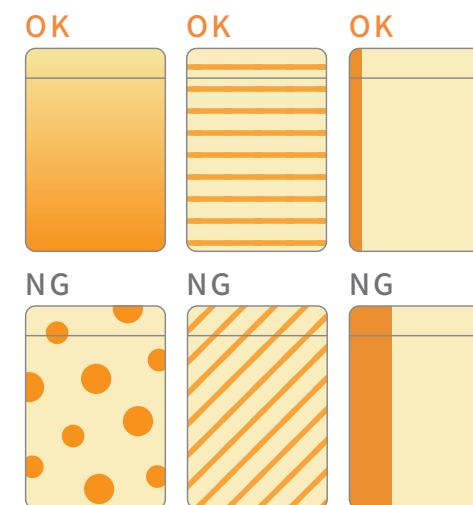
 左右の塗り足し範囲



▼版下参考



▼デザイン参考



※Bタイプの商品については左右内側の塗り足しが不要となります。

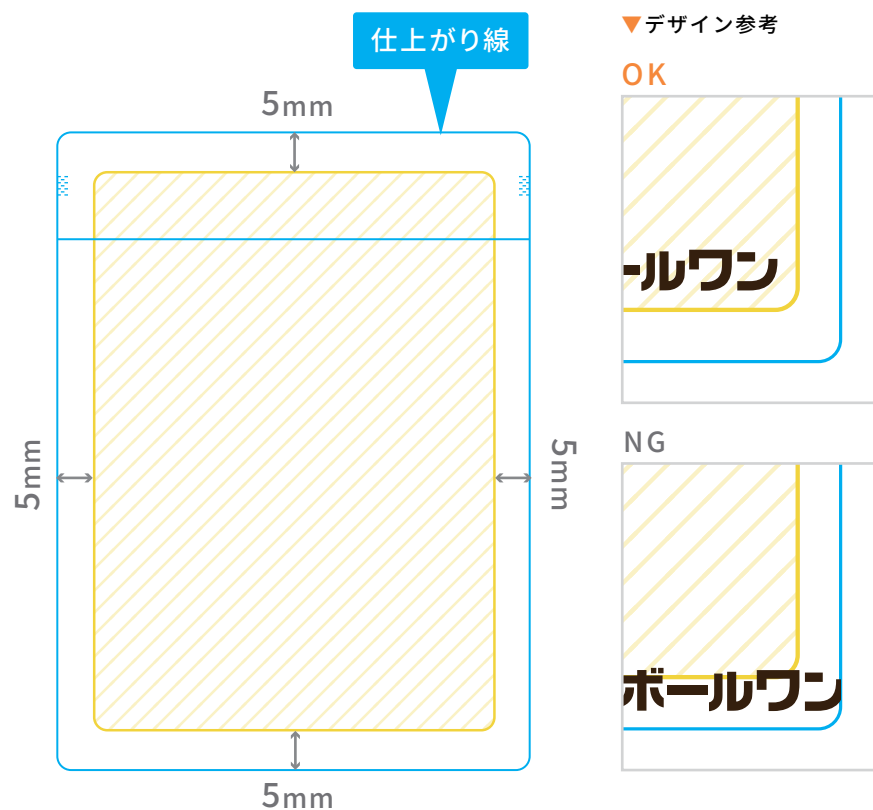
制作タイプ(材質)を変更される際は仕様が異なりますのでご注意ください。

## 2. デザインの配置について

### ■ 文字の位置

テキストや絵柄は断裁時に切れてしまわないように  
仕上がり線 — より内側に **5mm** の範囲内に収めてください。

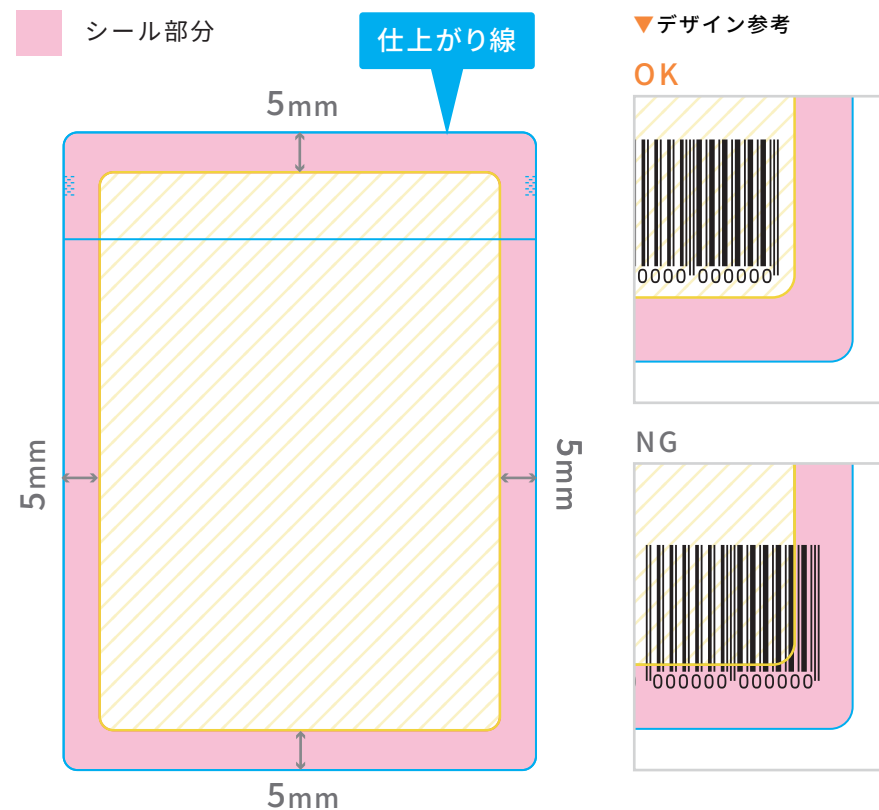
 文字の配置可能範囲



### ■ コードの位置

シール部にJANコードやQRコードが入ると読み取りづらくなるため  
仕上がり線 — より内側に **5mm** の範囲内に収めてください。

 コードの配置可能範囲



### 3. 各種の推奨サイズについて

#### ■ 文字の大きさ

**8pt** 以上推奨

参考 8ptのフォントサイズ

##### Point

小さいフォント(基準の6.5pt以下)でも可能ですが潰れやすくなりますのでご注意ください。

#### ■ 線の太さ

**0.25pt** 以上推奨

参考 0.25pt

##### Point

塗りのみの直線は印刷に出ませんので、必要な場合は線の設定を0.2pt以上に変更してください。

#### ■ プラマーク

**原則6mm** 以上

参考 6mm



##### Point

国内流通の場合はプラマーク必須です。  
海外流通の場合は不要でも問題ございません。

#### ■ QRコード

**15mm** 以上推奨

参考 15×15mm



##### Point

コードの複雑さによってはこの限りではございません。  
お客様にて読み取りテストをお願いいたします。

#### ■ JANコード

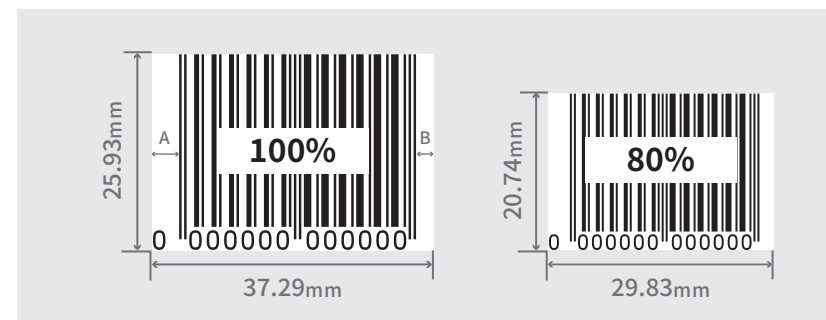
**横37.29mm×縦25.93mm** 推奨

##### Point

国内流通に限り、基準から80%～130%の範囲で倍率変更が可能です。  
海外流通の場合は変更不可です。

参考

【余白】 A:3.63mm B:2.31mm



#### ■ トランケーションについて

**最小10mm** 以上推奨

##### Point

倍率80%以上のサイズから、バーの高さを削るトランケーションが可能です。  
海外流通の場合はトランケーション不可です。

参考



## 4. オブジェクトの分割について

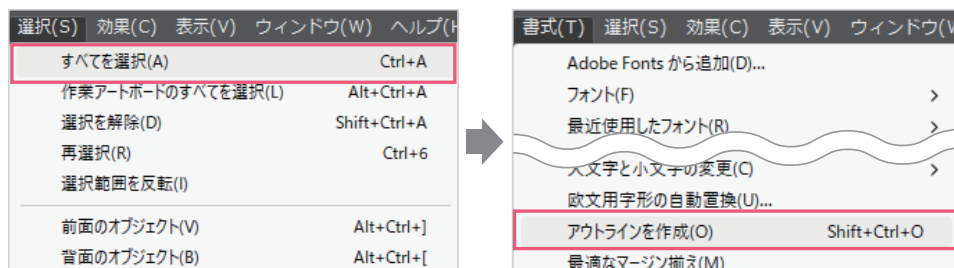
### ■ 文字のアウトライン化

配置されているフォントはすべて **アウトライン化** してください。

文字の崩れを防ぐために必要な工程になります。

**memo** アウトライン化：文字（フォント）を、図形（オブジェクト）に変換する処理のこと。

- 1 すべてを選択
- 2 メニューバー「書式」>「アウトラインを作成」



#### Point

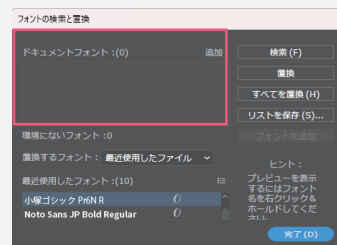
アウトライン化されていない場合は再入稿となります。  
レイヤーのロックや非表示で漏れないようご注意ください。

### チェック方法

#### ■ 文字のアウトライン

- 1 メニューバー「書式」>「フォントを検索」

ドキュメントフォント欄にフォント名が  
記載されてなければすべてアウトライン化されています。



### ■ パターンオブジェクトの分割

パターンが使用されている場合、**分割・拡張**を行ってください。

絵柄の崩れを防ぐために必要な工程になります。

**memo** パターンオブジェクト：繰り返しの模様を定義・スウォッチに登録したオブジェクトのこと。

- 1 該当のオブジェクトを選択
- 2 「オブジェクト」>「分割・拡張」



#### Point

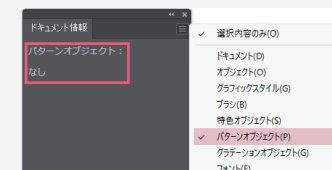
パターンオブジェクトが分割・拡張されていない場合は再入稿となります。  
レイヤーのロックや非表示で漏れないようご注意ください。

### チェック方法

#### ■ パターンオブジェクト

- 1 すべてを選択
- 2 メニューバー「ウィンドウ」>「ドキュメント情報」
- 3 ミから「パターンオブジェクト」をクリック

「パターンオブジェクト：なし」と表記が出れば問題ございません。



## 5. 画像について

### ■ 画像の解像度

**350dpi**以上推奨

memo

解像度：画像を構成するピクセル（点）の密度。単位は dpi もしくは ppi。  
数値が高いほど細かくきめ細かな表現となる。

解像度が低いと、粗くぼやけた印象の画像となります。

高すぎると、出力機器が処理できず品質が悪化します。

解像度350～400dpi程度、拡大率は **縮小70%～拡大130%** までを目安として作成し、ご使用ください。

#### Point

元が粗いデータだと、解像度のみを変更しても粗さは改善しません。  
解像度が十分でも粗い印象の場合、ご確認をお願いすることがあります。



72dpi



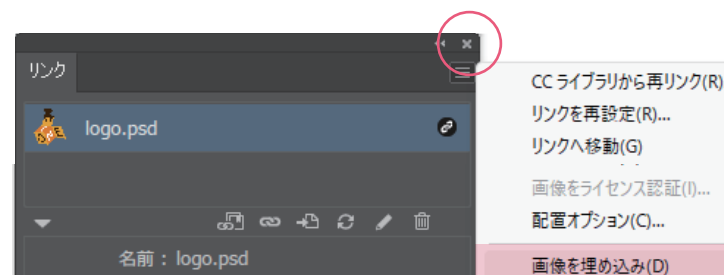
350dpi

### ■ 画像のリンクと埋め込み

画像は**すべて埋め込んでご入稿**してください。

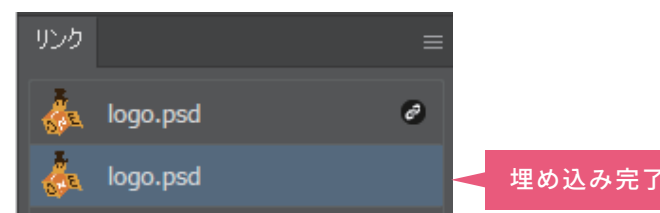
#### ■ 埋め込み処理について

- ①メニュー「ウィンドウ」>「リンク」
- ②リンクパレット上でリンク画像を選択
- ③右上三より「画像を埋め込み」を選択



#### Point

埋め込まれていない画像には横にアイコン●が付きます。  
アイコンが表示されていないければ埋め込み完了です。



## 6. 白版について

memo

白版：活用することで地の材質を生かした表現が可能。白版を敷くと白の上にデザインが乗り発色が良くなる。白版がない場合は、地の材質がそのまま表れる。

### ■ 白版の抜きについて

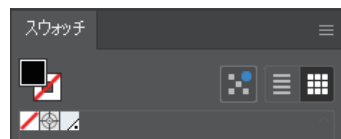
白版ありは白版専用の特色「HPI-White」

白版なしは **抜き** で作成してください。

#### Point

白版専用の特色「HPI-White」はスウォッチから選択できます。

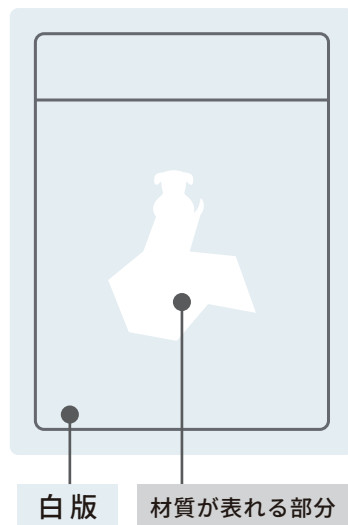
特色の分解は不可。また「HPI-White」以外の特色は使用不可です。



#### ▼ デザインイメージ



#### ▼ 白版参考イメージ

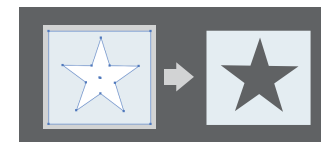


#### Point

白版はすべて白版レイヤーに入れてください。  
全面白版の場合は、塗り足しと同じサイズで作成してください。

### ■ メタル調や窓にしたいとき

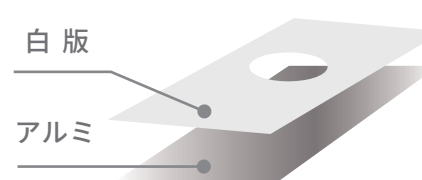
- ①オブジェクトを作成し、白版の上に配置し選択
- ②パスファインダー「前面オブジェクトで型抜き」
- ③完成した白版は全て選択し、グループ化
- ④メニューバー「ウィンドウ」>「透明」のプルダウンを『通常』→『乗算』に設定



#### Point

白版の抜きは必ずオブジェクトを抜いて作成してください。  
白ベタを配置しての抜きの指定は不可です。

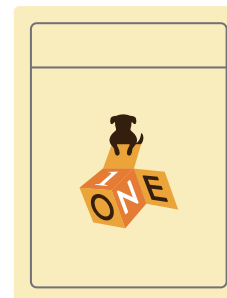
#### ▼ アルミ素材の参考



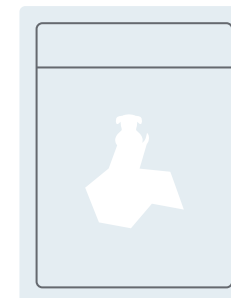
#### ▼ 透明素材の参考



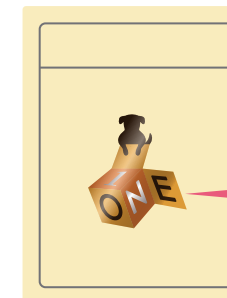
#### デザイン



#### 白版



#### ▼ 仕上がりイメージ



メタル調



## 7. カラーについて

### memo

カラーモード：コンピュータ上で色の表現方法。CMYKは印刷用（インキ）、RGBはモニター表示用（光）。  
特色：既製のインキでは出せない色を再現するための、特別に調合されたインキ。

### ■ ドキュメントのカラーモードについて

#### ■ 特色はNG

白版「HPI-White」以外の特色は使用不可

特色が使用されている場合はプロセスカラーへ変換する必要があります。

- ① スウォッチパネルの特色スウォッチをダブルクリック
- ② カラータイプ「プロセスカラー」へ変更



#### ■ カラーモードは基本的にCMYK

RGBで入稿された場合はCMYKに変換する必要があります。

色の変換に際して色の変化の大きさに注意してください。

#### ■ パレット内の特色はすべて削除

スウォッチに「HPI-White」以外の特色がないか確認してください。

### Point

白版用のスポット（スウォッチ）カラー「HPI-White」は名前を変更したり、特色の分解は行わないでください。

### memo

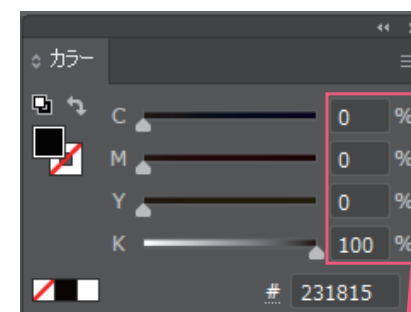
インキ濃度：CMYKのインキの合計濃度。

### ■ CMYKの合計は300%以内

レトルト対応の袋では **インキ濃度300%** を超えないようデザインを作成してください。

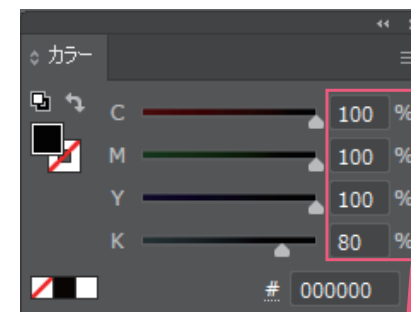
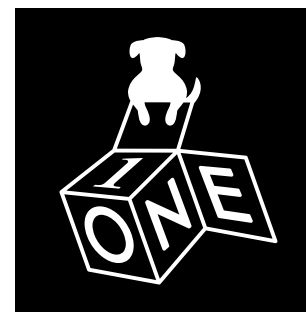
インキ濃度が高い箇所はラミネートの強度が低下する懸念があります。

OK



濃度100%

NG



濃度380%